

「蚊が0研究PROJECT」～挑戦問題 蚊の被害を0にする～ SEASON 3

本単元で育成する資質・能力

情報収集能力 思考・表現力 協働的な態度 挑戦心・探究心 使命感 感謝と貢献

期待される生徒の変容

H27年度の取組より

2年連続県科学賞を受賞することで、学校の伝統として地域の環境衛生活動の一部として研究を続けることへの主体的な学びの意欲が育ちつつある。

県科学賞紹介 ⊕ 県科学賞委員会賞



協力してもらった地域住民ら（右の3人）に受賞を報告する広南中科学部のメンバーら（呉市で）

「蚊が0研究PROJECT」
SEASON 2 「銅板の糞、
鶏糞の糞」ーボウフラが発生する条件および駆除効果の検証

（初発の生徒の感想より）

「今は蚊がいないなど想像もできません。けれども、昔の人ができたのだから、私たちもできるかもしれないと思うようになりました。自分も少しでも努力して、また多くの人に参加してもらえるように呼びかけたいです。私は「不可能に挑戦して成功する」というのがすごいと思うので、がんばりたいです。」

（研究終了後の生徒の感想より）

「私は、自分たちの地域が蚊とハエのいない町づくりに成功したことに驚き、興味を持ち、科学部ができることを知り、入りました。しかし、私はあまり虫が好きではなかったもので、はじめは入ったことを後悔したこともありましたが、先生方や科学部のメンバー、地域の方の協力でこのような形で研究をまとめることができました。今は、入ってとてもよかったと思っています。特に地域の方には実験に協力していただきなど、多大な協力をしていただきました。大変ありがとうございました。この研究を後輩たちが受け継いで、いつか蚊が0の町をつくってほしいと思います。」

「私は、昨年先輩たちの研究をみて、私も地域に貢献できることをしたいと思って科学部に入りました。でも、本当に地域から蚊をなくすことができるのだろうかと思うことがありました。しかし、研究を進めていくにつれて、蚊のいろいろなことについてわかるようになりました。また、アンケート結果でも蚊に刺された人が減ってきているので、このまま研究を続ければ、いつか蚊がいなくなるのではないかと思います。」



平成28年度指導計画・ワークシートの改善のポイント

・昨年度は、ルーブリック等による振り返りをする時間と場面を設定することができなかった。そこで、この単元で育てたい知識・資質・能力についてルーブリックを作成し、それをワークシートの中で示すとともに、自己評価と教師の評価欄を加えた。このルーブリックを活用して、つけたい資質・能力を生徒と共有し、本単元を生徒とともに振り返る時間を持ちたい。

・昨年度は、発展課題として生徒有志による科学部としての活動しか行わなかった。今年度は、蚊のついての調べ学習など、選択課題を用意し、全員に取り組みせたい。

・全員に取り組みさせる実験が生徒に達成感を持たせるものが準備できなかった。予備実験をしっかり行い、より達成感のある体験をさせたい。

